

令和6年度 第1回小樽市子ども・子育て会議 会議録

日 時：令和6年8月8日（木）午後6時00分～午後7時00分

場 所：小樽市役所別館3階第二委員会室

出席者：片桐会長、松本委員、桑原委員、小笠原委員、石川委員、厚谷委員、渡邊委員、一鐵委員、
伏間委員、木村委員、川原委員（欠席者：法本委員、林委員、松並委員）

事務局：こども未来部長、こども未来部次長、こども未来部主幹、こども福祉課長、こども家庭課長、
子育て支援課長、総合政策部企画政策室主幹、子育て支援課教育保育係長、子育て支援課事業
係長、主査、係員

<1 議事>

(1) 「第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和5年度実績)」について

●事務局より

資料に基づいて、各担当より第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明した。

●委員からの意見等

【資料1-1】

・令和5年度より人材確保として「保育士等就労定着支援事業」を実施したとのことだが、どのぐらいの数の申請があったのか

⇒31件の交付申請があった。

【資料1-2】

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）について

・ファミリーサポートでは昨年41件の病児の預かりを行っている。(10)病児保育事業では令和5年度から病児保育を無償化しており、同じ病児の預かりであるにも関わらずファミリーサポートに預けるとお金（1時間900円）が掛かるのは公平性に欠けているのではないかと。また、現状病児保育を行っている施設が1箇所であることから自宅から距離が離れている市民もいて、利用がしにくい方もいる。

ファミリーサポートでの預かりで対応するケースも考えられるため、無償化について検討していただきたい。

・銭函地区については病児保育実施施設との距離が遠いこともあり、もう少し近くに施設があれば、せめて札幌市の施設を使えたらという声もある。他市施設の広域利用のようなことができれば助かる方もいると思う。

⇒他の支援策との兼ね合いもあるため今後の課題、意見として受け取る。

(2) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について

●事務局より

資料に基づいて、特定教育・保育施設の利用定員の変更について説明。

●委員からの意見等

特になし

(3) 第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた「需要量の見込み」等について

●事務局より

資料に基づいて、国の基本指針の概要と市町村子ども・子育て支援事業計画について、第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画の構成案について、「需要量の見込み」について、教育保育及び地域子ども・子育て支援事業の「需要量の見込み」に対する「確保方策」と「実施時期」についてそれぞれ説明。

●委員からの意見等

特になし

(4) その他

●事務局より

今後の日程について説明。

●委員からの意見等

特になし

以上